

項目名

(4) 健康かごしま21鹿児島地域推進協議会の結果について

■ 現状（概要）

「健康かごしま21推進協議会」で決定された重点課題及び地域の実情に応じた健康課題について、多様な健康づくり関係機関・団体がそれぞれの立場で、主体的な取組をどのように推進していくかについて協議・検討を行い、地域住民の健康づくりを効果的・体系的に推進する。

■ 取組状況

【開催日】令和3年10月14日（木） 14時30分～16時00分

【場所】鹿児島地域振興局日置庁舎（伊集院保健所）3階第1会議室

【出席者】委員等15名（14委員と1代理出席者）、事務局3名

【内容】1 説明・報告

- (1)「健康かごしま21」の概要、計画期間の延長、本協議会について
- (2)「健康かごしま21」の中間評価結果について
- (3)令和3年度重点テーマ・キャッチフレーズについて

2 協議

- (1)ロコモ・フレイル対策について
- (2)糖尿病予防・糖尿病重症化予防対策について

■ 成果・課題

1 説明・報告

「健康かごしま21」計画の概要、計画期間の延長、本協議会の位置づけ、中間評価の結果、令和3年度重点テーマとキャッチフレーズの活用について説明、周知した。

2 協議

県や鹿児島地域の現状を踏まえ、昨年度に引き続き、「ロコモ・フレイル対策」と「糖尿病予防・糖尿病重症化予防対策」について、情報共有・協議を行った。

(1)ロコモ・フレイル対策について

・中間評価結果でも、認知度が低い実態や、フレイルサイクルの各分野（口腔ケア・栄養・運動）で、関係団体が関わる中で推進できることを認識できた。

(2)糖尿病予防・糖尿病重症化予防対策について

・一次予防、二次予防、三次予防について、関係する団体で推進しつつ、連携を図ること等を協議した。

■ 今後の予定

- 1 コロナ禍において、運動など個人での自主的に取り組みが必要となる部分もあり、それを支援・推進する体制づくりや、各ライフステージの切れ目のない取組を意識し、地域・職域・学域が連携し推進していく。
- 2 令和4年度においても、地域推進協議会を開催し、地域の関係団体と協力しながら、さらなる健康づくりを推進していく。
- 3 市村と連携し、「受動喫煙防止対策」や「たばこの煙のないお店」「かごしま食の健康応援店」等の拡大に努め、社会環境の整備を図る。

■ 依頼事項等

地域・職域・学域が連携を図りながら、それぞれの立場において、ロコモ・フレイル対策の周知や糖尿病予防などの健康づくりを推進するとともに、コロナ禍における個人での自主的な取組がなされるよう、働きかけや支援等をお願いします。

管内市村の現状について

県・市町村：鹿児島県国保連合会データ
 全国：国保中央会データ

①管内市村別特定健康診査実施率（市町村国保・令和元年度）

市村名	全体（男女計）		男性		女性	
	特定健診実施率	県内順位	特定健診実施率	県内順位	特定健診実施率	県内順位
日置市	62.9	5	58.1	5	67.5	5
いちき串木野市	60.9	7	55.7	9	65.4	6
三島村	74.3	1	72.5	1	76.7	1
十島村	71.1	2	70.5	2	71.9	3
鹿児島県	44.7	—	41.4	—	47.7	—
全国	38.0	—	34.5	—	41.2	—

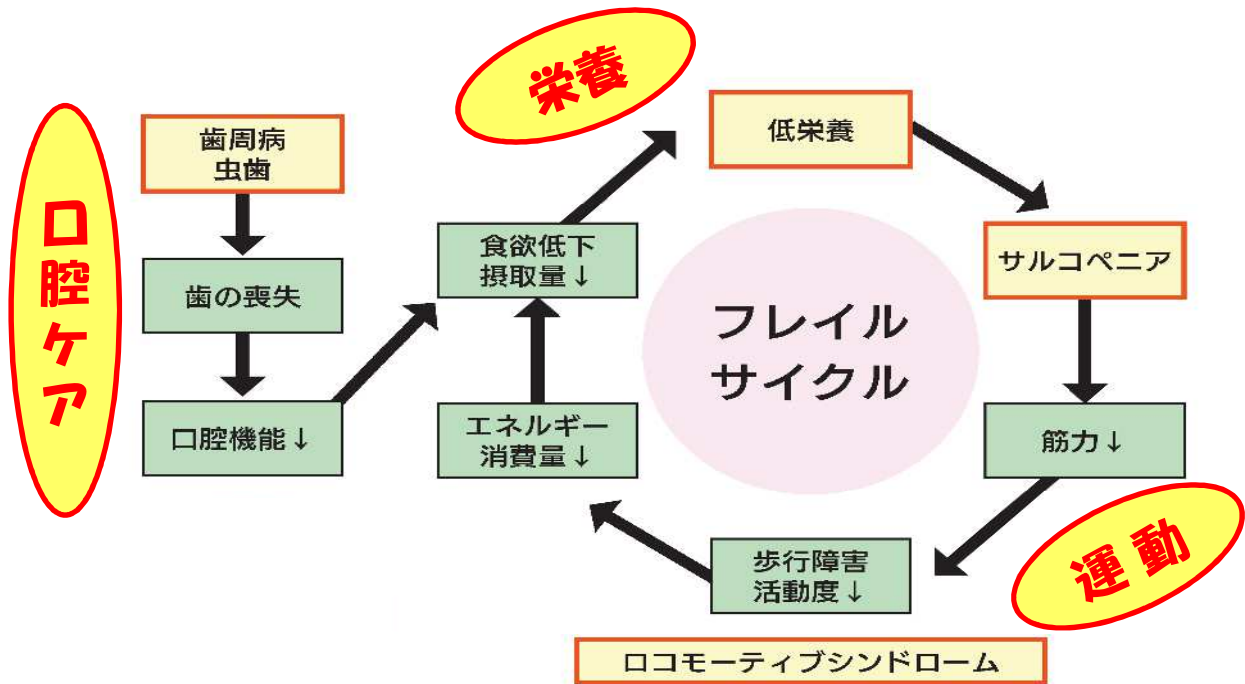
②管内市村別糖尿病治療薬服用者割合（市町村国保・令和元年度）

市村名	全体（男女計）		男性		女性	
	服用者割合	県内順位	服用者割合	県内順位	服用者割合	県内順位
日置市	11.5	22	14.6	21	8.9	21
いちき串木野市	13.5	9	18.6	4	9.6	15
三島村	23.1	1	13.8	27	34.8	1
十島村	10.2	32	12.9	31	6.5	38
鹿児島県	11.4	—	14.9	—	8.6	—
全国	8.6	—	11.9	—	6.0	—

③市町村国保における人工透析者の状況（令和元年度）

順位	①人工透析導入者			順位	②新規人工透析導入者			順位	③新規人工透析導入者のうち、糖尿病疾患患者			
		人工透析導入者数	被保険者100万人あたり			新規人工透析導入者数	被保険者100万人あたり			新規人工透析導入者数	糖尿病疾患患者数	割合
1	南大隅町	23	11.170	1	大和村	1	2,299	1	伊佐市	3	3	100.0%
2	いちき串木野市	58	9,622	2	長島町	6	1,811	1	垂水市	4	4	100.0%
3	大和村	4	9,195	3	天城町	3	1,459	1	南種子町	1	1	100.0%
4	湧水町	21	8,678	4	大崎町	5	1,353	1	大和村	1	1	100.0%
5	南さつま市	72	8,526	5	南さつま市	9	1,066	1	喜界町	1	1	100.0%
6	霧島市	219	8,479	6	垂水市	4	1,050	1	与論町	1	1	100.0%
7	天城町	17	8,268	7	知名町	2	922	1	湧水町	1	1	100.0%
8	伊佐市	53	8,076	8	日置市	9	844	1	屋久島町	1	1	100.0%
9	南種子町	13	8,070	9	いちき串木野市	5	829	9	南さつま市	9	8	88.9%
10	曾於市	79	7,879	9	錦江町	2	829	10	長島町	6	5	83.3%
11	長島町	26	7,846	11	志布志市	7	827	11	阿久根市	4	3	75.0%
12	さつま町	39	7,670	12	阿久根市	4	780	12	鹿児島市	68	50	73.5%
13	薩摩川内市	142	7,379	13	肝付町	3	748	13	鹿屋市	14	10	71.4%
14	始良市	118	7,149	14	薩摩川内市	13	676	13	志布志市	7	5	71.4%
15	肝付町	27	6,728	15	霧島市	17	658	15	枕崎町	3	2	66.7%
16	鹿児島市	808	6,699	16	西之表市	3	649	15	西之表市	3	2	66.7%
17	錦江町	16	6,631	17	南種子町	1	621	15	日置市	9	6	66.7%
18	南九州市	65	6,582	18	曾於市	6	598	15	曾於市	6	4	66.7%
19	鹿児島県	2478	6,559	19	出水市	8	595	15	天城町	3	2	66.7%
20	阿久根市	33	6,438	20	鹿児島県	223	590	鹿児島県	223	144	64.6%	
20	宇検村	3	6,122	20	鹿屋市	14	582	20	出水市	8	5	62.5%
21	出水市	81	6,022	21	鹿児島市	68	564	21	指宿市	5	3	60.0%
22	大崎町	22	5,952	22	枕崎町	3	520	21	いちき串木野市	5	3	60.0%
23	志布志市	50	5,909	23	与論町	1	510	21	大崎町	5	3	60.0%
24	指宿市	71	5,737	24	始良市	8	485	24	薩摩川内市	13	7	53.8%
25	徳之島町	20	5,737	25	伊佐市	3	457	25	奄美市	4	2	50.0%
26	枕崎町	31	5,375	26	喜界町	1	444	25	始良市	8	4	50.0%
27	中種子町	13	5,345	27	湧水町	1	413	25	錦江町	2	1	50.0%
28	日置市	57	5,343	28	指宿市	5	404	28	南九州市	3	1	33.3%
29	奄美市	58	5,234	29	瀬戸内町	1	391	28	肝付町	3	1	33.3%
30	西之表市	24	5,195	30	奄美市	4	361	30	霧島市	17	4	23.5%
31	龍郷町	8	5,099	31	南九州市	3	304	31	東串良町	0	0	0.0%
32	垂水市	19	4,987	32	徳之島町	1	287	31	中種子町	0	0	0.0%
33	鹿屋市	118	4,908	33	屋久島町	1	245	31	三島村	0	0	0.0%
34	知名町	10	4,610	34	さつま町	1	197	31	十島村	0	0	0.0%
35	喜界町	10	4,444	35	東串良町	0	0	31	宇検村	0	0	0.0%
36	十島村	1	4,219	35	中種子町	0	0	31	瀬戸内町	1	0	0.0%
37	瀬戸内町	10	3,912	35	三島村	0	0	31	龍郷町	0	0	0.0%
38	屋久島町	15	3,672	35	十島村	0	0	31	徳之島町	1	0	0.0%
39	東串良町	7	3,448	35	宇検村	0	0	31	伊仙町	0	0	0.0%
40	和泊町	7	2,834	35	龍郷町	0	0	31	和泊町	0	0	0.0%
41	与論町	5	2,552	35	伊仙町	0	0	31	知名町	2	0	0.0%
42	伊仙町	5	2,197	35	和泊町	0	0	31	さつま町	1	0	0.0%
43	三島村	0	0	35	南大隅町	0	0	31	南大隅町	0	0	0.0%

フレイルサイクルの図

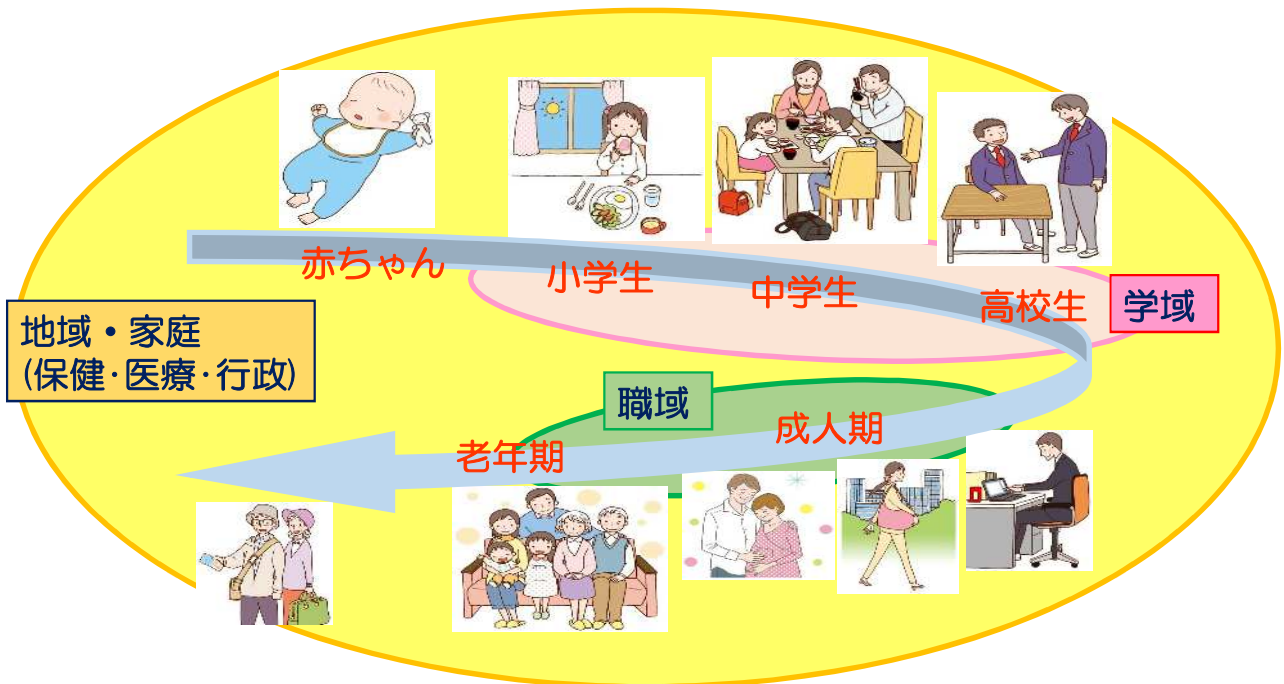


Xue QI 等, J Gerontol A Biol Sci Med Sci.2008より改変
<http://blog.asan-machi-gp-clinic.com/?eid=152>

「フレイル予防の手引き（鹿児島県）」より引用

1

ライフサイクルの各ステージにおける関係部門のイメージ図



ライフサイクルの各ステージごとに、それぞれ地域・学域・職域が関わっており、つながりを意識した取組が必要です。